

特定建築物排出量削減計画書

(宛先) 宇治市長	平成 26年 3月 7日
住所 宇治市大久保町西ノ端1番30	氏名 株式会社サンフレム 代表取締役社長 田中達生

工 事 の 種 別	<input type="checkbox"/> 新築 <input checked="" type="checkbox"/> 増築			
工事着工予定年月日	平成 26年 3月 31日			
工事完了予定年月日	平成 26年 8月 31日			
特定建築物 の概要	名 称	サンフレム京都本社		
	所 在 地	宇治市大久保町西ノ端1番30、1番29、大久保町成手1番26		
	構 造	鉄骨造	階 数	地上 2 階 地下 一 階
	敷地面積	9,292.84㎡	高 さ	17.34m
	建築面積	5,517.23㎡	床面積の合計 (増築部分の床面積)	( 7,789.30㎡ 2,487.58㎡ )
	用途別の床面積	住 宅		
		ホ テ ル 等		
		病 院 等		
		物品販売業を営む店舗等		
		事 務 所 等	1,297.62㎡	
学 校 等				
飲 食 店 等				
集 会 所 等				
	工 場 等	6,491.68㎡		
特定建築物の環境の保全についての配慮に係る性能に関する評価結果		BEE=1.6 A		

府内産木材等の使用	府内産木材等の種類と使用量	①第11条の2第1号ア該当木材等 0.2861立方メートル ②第11条の2第1号イ該当木材等 立方メートル ③第11条の2第2号該当木材等 立方メートル ④第11条の2第3号該当木材等 立方メートル 府内産木材等の使用量の合計量 0.2861立方メートル (①+②+③+④)
	使用する用途	(1階) モーター室、(2階) 開発室1、開発室2・額縁、建具枠
	府内産木材等の使用基準量	0.2071立方メートル
	当該建築物における木材の使用量の合計量	0.2861立方メートル
	木材が使用可能な居室の合計面積	144.68平方メートル
再生可能エネルギーを利用するための設備の導入	再生可能エネルギーを利用するための設備の種類	年間で利用可能な再生可能エネルギーの量
	①太陽光	32,096メガジュール
	②風力	メガジュール
	③水力	メガジュール
	④地熱	メガジュール
	⑤太陽熱	メガジュール
	⑥バイオマス	メガジュール
	⑦その他( )	メガジュール
再生可能エネルギーの利用量の合計量 (①+②+③+④+⑤+⑥+⑦)	32,096メガジュール	
温室効果ガスの排出の量の削減を図るために実施する措置		概 要
<input checked="" type="checkbox"/> 外壁、屋根又は床の断熱	溶融55%アルミ亜鉛合金めっき鋼板 t=0.8、0.6 無塗装 2重折板葺き 2重折板葺き グラスウール10kg/m <sup>3</sup> t=50+50	
<input type="checkbox"/> 窓の断熱又は日射の遮蔽		
<input type="checkbox"/> エネルギー消費効率の高い設備の導入		
<input type="checkbox"/> 環境への負荷が少ない材料の利用		
<input checked="" type="checkbox"/> 節水型設備の設置	節水型便器の使用	
<input type="checkbox"/> 雨水、雑排水等の利用		
<input type="checkbox"/> 耐用年数が高い材料及び設備の利用		
<input type="checkbox"/> 建築物の維持管理の容易性に対する配慮		
<input checked="" type="checkbox"/> 緑化の実施	既存には、屋上緑化を実施済み。 工場立地法による緑地は、増築部分も含めた全体の敷地で確保している。	
<input type="checkbox"/> その他		

注 1 該当する□には、レ印を記入してください。

2 この計画書には、次に掲げる事項が分かる書類を添付してください。

(1) 再生可能エネルギーを利用するために導入しようとする設備の内容

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減を図るために実施しようとする措置の内容

3 「府内産木材等の使用基準量」には、第22条第3項の規定により算出した数値を記入の上、その算出の根拠となる資料を添付してください。